

# 春休み少年少女名作鑑賞

■開館は午後1時で先着239名(座席数204)に達し次第締め切ります。

■上映は3時の回のみです。(6時15分の回は≪フランス映画の回顧≫を上映します。別紙参照。)

一般250円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演 者
3月26日(月)	3時 綴方教室 (85分)	東 宝・1938年	山本嘉次郎	高峰秀子, 徳川夢声, 清川虹子, 滝沢修, 赤木蘭子
27日(火)	〃 おかあさん (97分)	新東宝・1952年	成瀬巳喜男	田中絹代, 香川京子, 岡田英次, 加東大介, 三島雅夫
28日(水)	〃 にあんちゃん (100分)	日 活・1959年	今村 昌平	長門裕之, 松尾嘉代, 前田暁子, 沖村武, 吉行和子
29日(木)	〃 キューボラのある街 (99分)	日 活・1962年	浦山 桐郎	吉永小百合, 浜田光夫, 東野英治郎, 市川好郎
30日(金)	〃 かあちゃんと11人の子ども (103分)	松 竹・1966年	五所平之助	左幸子, 渥美清, 倍賞千恵子, 田村正和, 久我美子

## 1920年代のドイツ映画—表現主義と新即物主義の間

表現派映画の代表作『カリガリ博士』に始まった1920年代のドイツ映画には、当時、巨大な資本力にものをいわせて世界の映画市場を席捲せんばかりの日の出の勢いにあったアメリカ映画も瞠目するような芸術的に優れた作品が数多く含まれていたことは周知の通りです。この1920年代のドイツ映画がいかに芸術的に優れていたかを今日的な眼で再評価する企画として、当フィルムセンターでは1981年2月に特集番組《1920年代のドイツ映画》を上映いたしました。しかし、この時上映されたのはその殆どが16ミリ・プリントでした。その後、ミュンヘン映画博物館長エンノ・パタラス氏が、数々の苦勞の末これらの名作の35ミリ・プリントを復元することに成功されました。今回、フィルムセンターでは、東京ドイツ文化センターと共催で、これらの名作を35ミリ・プリントで鑑賞していただく特別企画《1920年代のドイツ映画—表現主義と新即物主義の間》を〈ドイツ祭'84〉に協賛するものとして上映することにいたしました。今回の番組には本邦初公開の「牡蛎の王女」や「日曜日の人々」のほか、戦後初めての上映である『ファラオの恋』や『伯林—大都会交響楽』といった珍らしい作品が含まれています。広く映画を愛好される方々の御鑑賞をお勧めいたします。

1984年3月 フィルムセンター 東京ドイツ文化センター

後援：ドイツ大使館

■開館は午後1時で先着順にて定員239名(座席数204)に達し次第締め切ります。1回目の上映が締め切りの場合、上映後に全館入れ替えとなります。

■平日は午後3時と6時15分の2回上映、土曜日は午後1時30分より1回のみ上映いたします。

■上映作品はドイツ語オリジナル版です。

■4月より入館料が右のように改訂されますので御諒承下さい。

一般300円・学生200円・小人150円

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
4月16日(月)	牡蛎の王女 Die Austernprinzessin	1919年	エルンスト・ルビッチュ	オッシ・オスヴァルダ, ハリ・リートケ, ヴィクトル・ヤンソン クルト・ボイス, ユリウス・ファルケンシュタイン, マリス・クロネルト
17日(火)	パッション Madame Dubarry	1919年	エルンスト・ルビッチュ	ポーラ・ネグリ, エミール・ヤニングス, エドアルド・フォン・ ヴィンターシュタイン, ラインホルト・シュンツェル
18日(水)	死滅の谷 Der müde Tod	1921年	フリッツ・ラング	ベルンハルト・ゲツケ, リル・ダゴファー, ヴァルター・イェンセン カール・ルッケルト, マクス・アダルベルト, カール・ブラーテン
19日(木)	吸血鬼ノスフェラトゥ Nosferatu	1922年	フリードリヒ・W・ムルナウ	マクス・シュレック, アレクサンダー・グラナハ, グスタフ・V・ヴァ ンゲンハイム, グレタ・シュレーダー=マトライ, ゲオルク・H・シュネル
20日(金)	ファラオの恋 Das Weib des Pharao	1922年	エルンスト・ルビッチュ	エミール・ヤニングス, パウル・ヴェゲナー, リダ・サルモノヴァ ダグニ・セルヴァエス, アルバート・パッサーマン, ハリ・リートケ
21日(土)	カリガリ博士 Das Cabinet des Dr. Caligari	1920年	ロベルト・ヴィーネ	ヴェルナー・クラウス, コンラート・ファイト, リル・ダゴファー フリードリヒ・フェーヘル, ハンス・ハイント・V・トワルドウスキ
* 3時より講演会：「ドイツ無声映画の収集と復元版作製について」 講師：ミュンヘン映画博物館長 エンノ・パタラス氏(通訳付)				
23日(日)	最後の人 Der letzte Mann	1924年	フリードリヒ・W・ムルナウ	エミール・ヤニングス, マリー・デルシャフト, マクス・ヒラー エミリー・クルツ, ハンス・ウンターキルヒェン, ゲオルク・ヨーン
24日(火)	メトロポリス Metropolis	1926年	フリッツ・ラング	ブリギッテ・ヘルム, アルフレート・アベル, グスタフ・フレイリヒ ルドルフ・クライン=ロッグ, テオドール・ロース, ハインリヒ・ゲオルゲ
25日(水)	心の不思議 Geheimnisse einer Seele	1926年	ゲオルク・W・パプスト	ヴェルナー・クラウス, ルート・ヴァイアー, イルカ・グリュエニング ジャック・トレヴァー, パヴェル・バヴロフ, ヘルタ・フォン・ヴァルター
26日(木)	伯林—大都会交響楽 Berlin—Die Sinfonie einer Großstadt	1927年	ヴァルター・ロットマン	長篇記録映画
27日(金)	日曜日の人々 Menschen am Sonntag	1929年	{ ロベルト・ジオドマク エドガー・G・ウルマー	{ ブリギッテ・ボルヒェルト, クリステル・エーラーズ, アニー・シュ ライヤー, ヴォルフガング・V・ヴァルタースハウゼン
28日(土)	ジークフリード Die Nibelungen, Teil 1: Siegfried	1924年	フリッツ・ラング	{ パウル・リヒター, マルガレーテ・シェーン, ハンナ・ラルフ, ゲルトルート・アルノルト, テオドア・ロース